



小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2022年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう		書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	「「いたいっ!」がうんだ大発明」  バリー・ウィッテン シュタイン クリス・スー こだま ともこ 光村教育図書	おくさんのジョセフィンさんが台所で指先に切りキズを作っているのを見たアールさんは、ガーゼを作る会社につとめているけいけんを生かし、「ばんそうこう」を作りました。そしていつしか世界中の人々の「いたいっ!」を止めることになるのです。	図書	「いのちのカプセルにのって」  岡田 なおこ 著 サカイ ノビー 絵 汐文社	指があまりうまく動かせないあかりは「わかば学級」に通っています。赤ちゃんはうちゅうの果てから「いのちのカプセル」にのってここに来ると聞いて、子犬がほしくなりました。子犬のマモルをかってお世話をするようになってから、少しずつやりたいことやれることがふえてきて…。
絵本	「雪虫」  石黒 誠 文・写真 福音館書店	体長3～4ミリの小さな雪虫の正式な名前は「トドネオオワタムシ」というアブラムシの仲間です。雪がふりはじめる前に飛ぶ雪虫が、夏の間はどのようにしてすごしているのか、どんな一生をおくるのかを写真で追いかけてみます。	図書	「モノのねだん事典」 高すぎ? 安すぎ!?  大澤 裕司 文 死後くん 絵 ポプラ社	「自販機はねだんを自由に決めていい」「信号って、歩行者用よりも車用のほうが高い」「給食費はほとんど材料費代だけ」「校長先生のイスは学校一のイス」気になるいろいろなモノのねだんを、おもしろくまとめてしょうかいしています。
絵本	「はじめてのオーケストラ」  佐渡 裕 原作 はた こうしろう 絵 小学館	みーちゃんは、オーケストラのしきしゃをやっているパパに、1年生になったらコンサートにしようたいすると言われていました。新しいドレスをきて、いよいよはじめてオーケストラをききに行く日がやってきました。とくべつな夜が始まります！	図書	「チイの花たば」  森 絵都 作 たかお ゆうこ 絵 岩崎書店	おばあちゃんがまほう使いみたいに綺麗な花束をつくるのを見たチイは、自分もお花屋さんになりたいと思いました。そのためには花にためされるテストがあるらしいのですが…。花畑でくりひろげられる不思議な花のテストにチイは無事ごうかくすることができるのでしょうか？
絵本	「伝え守る」  アイヌ三世代の物語 宇井 眞紀子 写真・文 少年写真新聞社	大阪から北海道へ引っこしたアイヌの血を引く家族は大好きないいじから歌や料理や工芸、自然とくらす知恵などのアイヌ文化を受けついでいました。大切なことを守り伝える、三世代のすがたを写真でしょうかいしています。	図書	「ぼくはくまですよ」  フランク・タシュリン 文・絵 小宮 由 文 大日本図書	さわがしい工場の真ん中で冬眠からめざめたクマは、工場の人に「毛皮のコートを着て、ヒゲをそらないだらしない人間だ!」と言われてしまいます。「ぼくは、くまですが」と言っても聞いてもらえません。おもしろいけど、ちょっとモヤモヤして考えさせられるおはなしです。
図書	「源氏物語」 げんじものがたり 姫君、若紫の語るお話  紫式部 原作 石井 睦美 文 佐々木 メエ 絵 加藤 康子 監修 学研プラス	平安京の時代、千年ほど前にえがかれた源氏物語。姫君の若紫(わかむらさき)が、後に出会う「源氏の君」に起きたさまざまな出来事を語ります。身分の低さに自由をはばまれ、苦しい心をかかえながら本当の愛を探した光源氏の物語を、読みやすい文章でつづっています。	図書	「珪藻美術館」 けいそう びじゅつかん ちいさな・ちいさな ガラスの世界  奥 修 文・写真 福音館書店	顕微鏡(けんびきょう)の中に広がる珪藻という「藻(も)」は、光かがやくガラスの殻(から)を持っています。1ミリの10分の1よりも小さいそれらをならべ、一つ一つの大さのちがいを利用してデザインする世界一小さなガラスアート作品です。